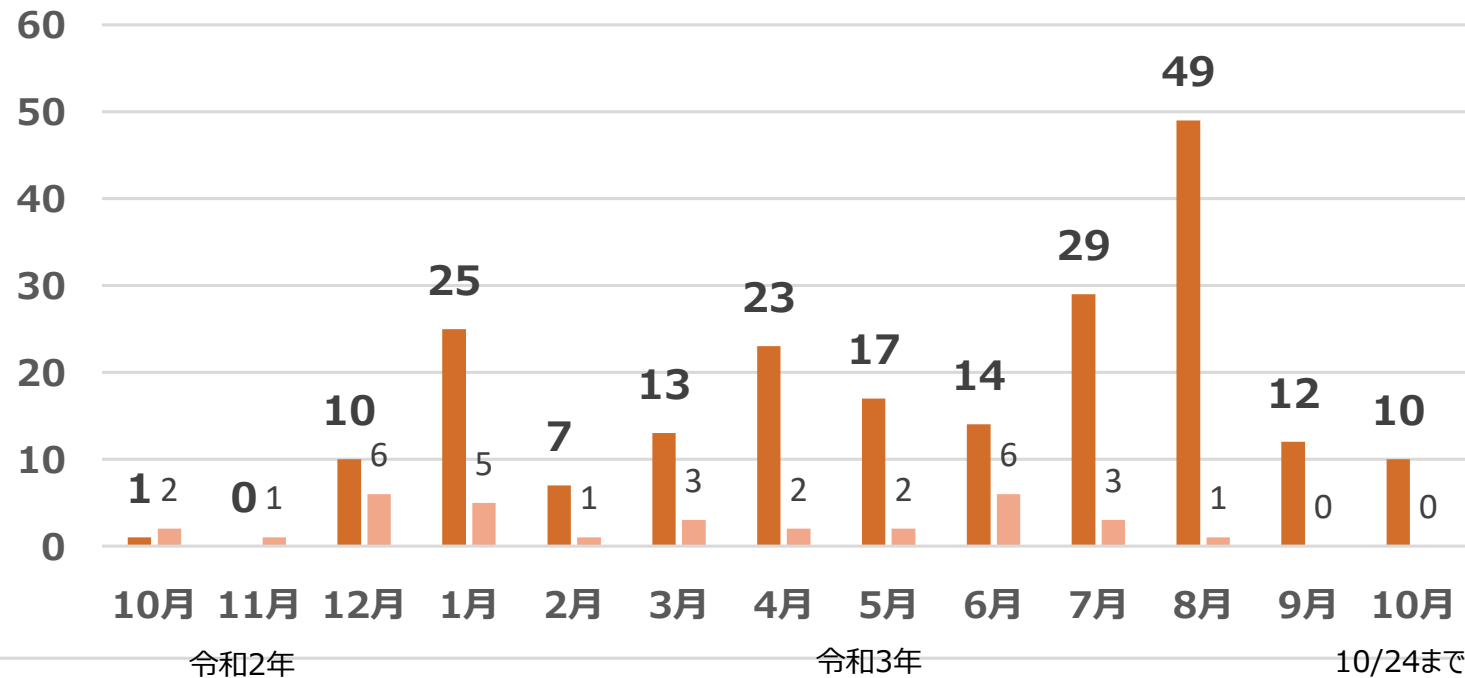


最近の水際対策について

検疫をすり抜けて市中で感染が判明した東京都,愛知県での陽性者数の推移

■ 東京都 ■ 愛知県



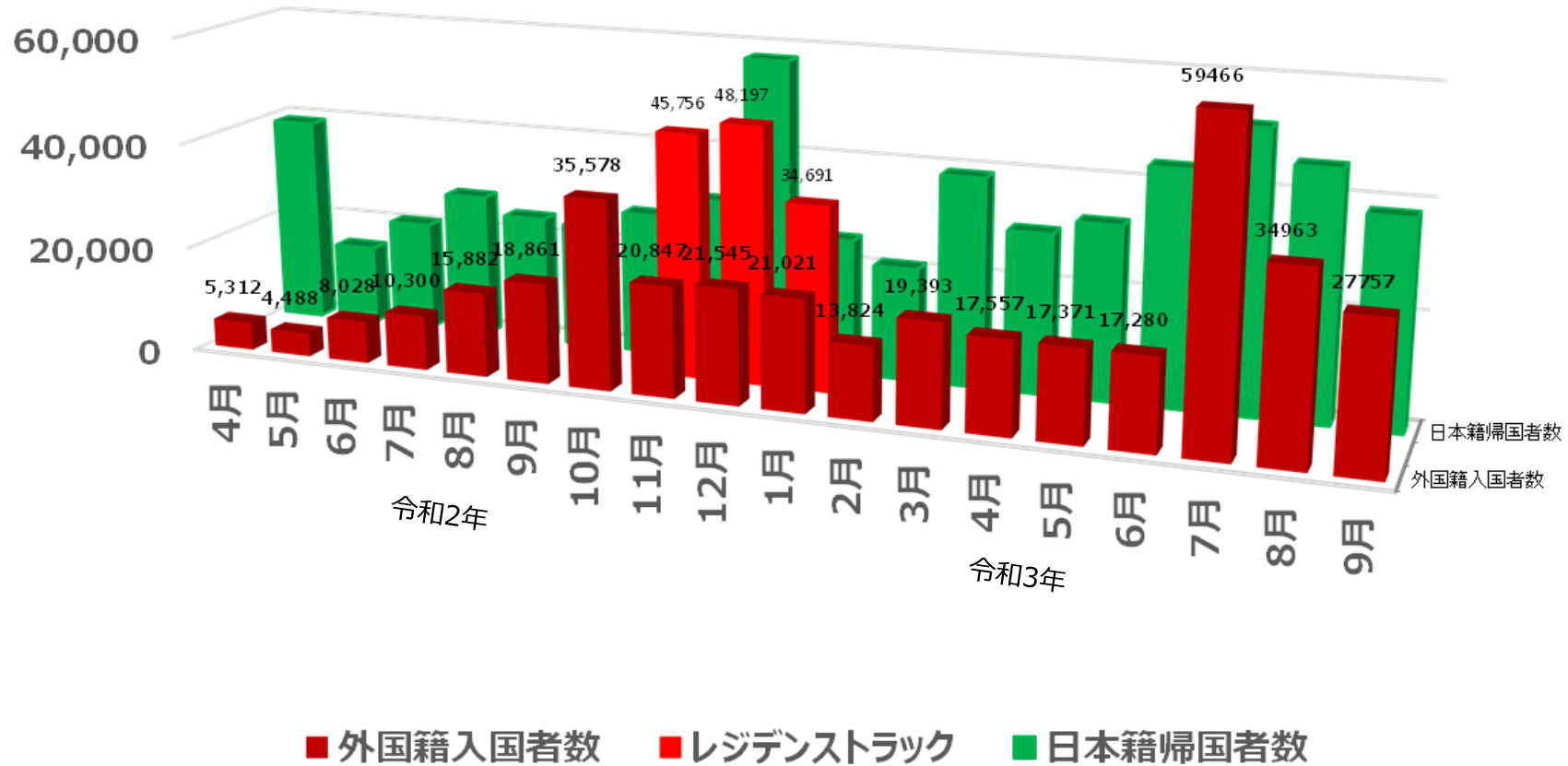
COVID-19対策の中間総括が求められる時期に来ていると思われます。最大のポイントとして①PCR検査の脆弱さ②病床確保の失敗を、次の危機管理に向けて総括すべきと言われていますが、③水際対策の失敗も大きなポイントの一つかと思われます。左図は東京都、愛知県の検疫をすり抜け、市中で陽性が判明した感染者の直近のデータです(検疫スルー感染)。全国調査したデータは見当たりませんが、人口を基に単純推計すると(東京都と愛知県の人口合計が約2000万)、先月9月には全国に $12 \times 6 \div 72$ 人が海外から市中にブレークスルー浸透したと算出されます。第113報では「最近の水際対策」で気になった点に関する私見を報告させていただきます。

東京都、愛知県の公表する陽性者属性よりピックアップ。[新型コロナウイルス感染症の患者発生状況について 東京都福祉保健局 \(tokyo.lg.jp\) 394512.pdf](https://www.tokyo.lg.jp/394512.pdf) [pref.aichi.jp\) 396220.pdf](https://www.pref.aichi.jp/396220.pdf) (pref.aichi.jp)

まずは総論から・・・

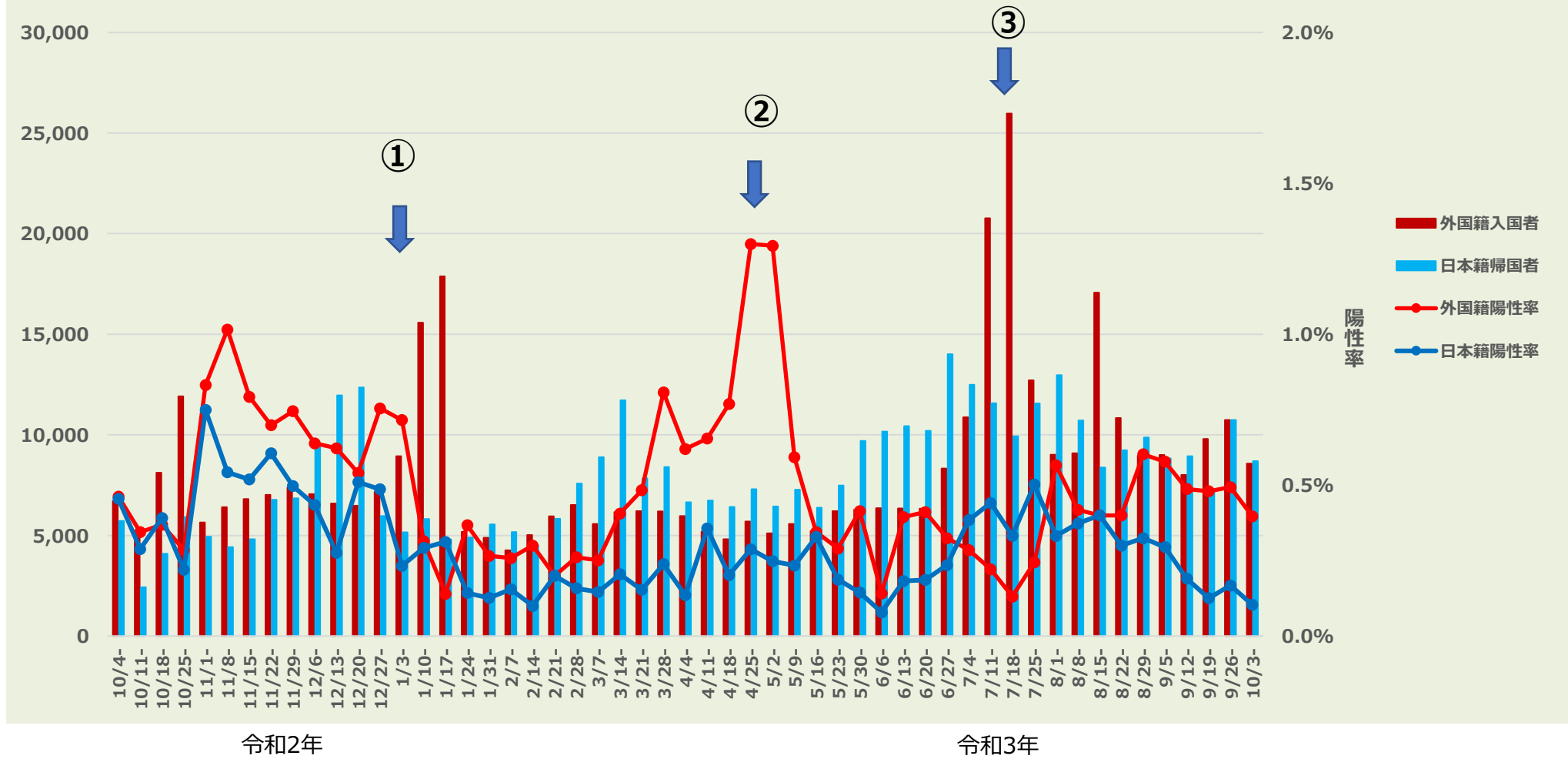
外国籍入国者数、日本籍帰国者数の推移

出入国在留管理庁の公表データ



外国籍入国者はオリンピックで急増、その後減少傾向にあります。オリンピック前の約1.5倍。日本籍帰国者も同じ傾向です。

外国籍入国者、日本籍帰国者数と空港検疫での陽性率の推移

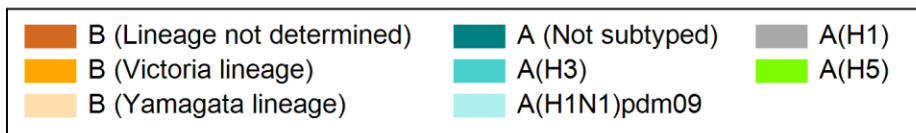
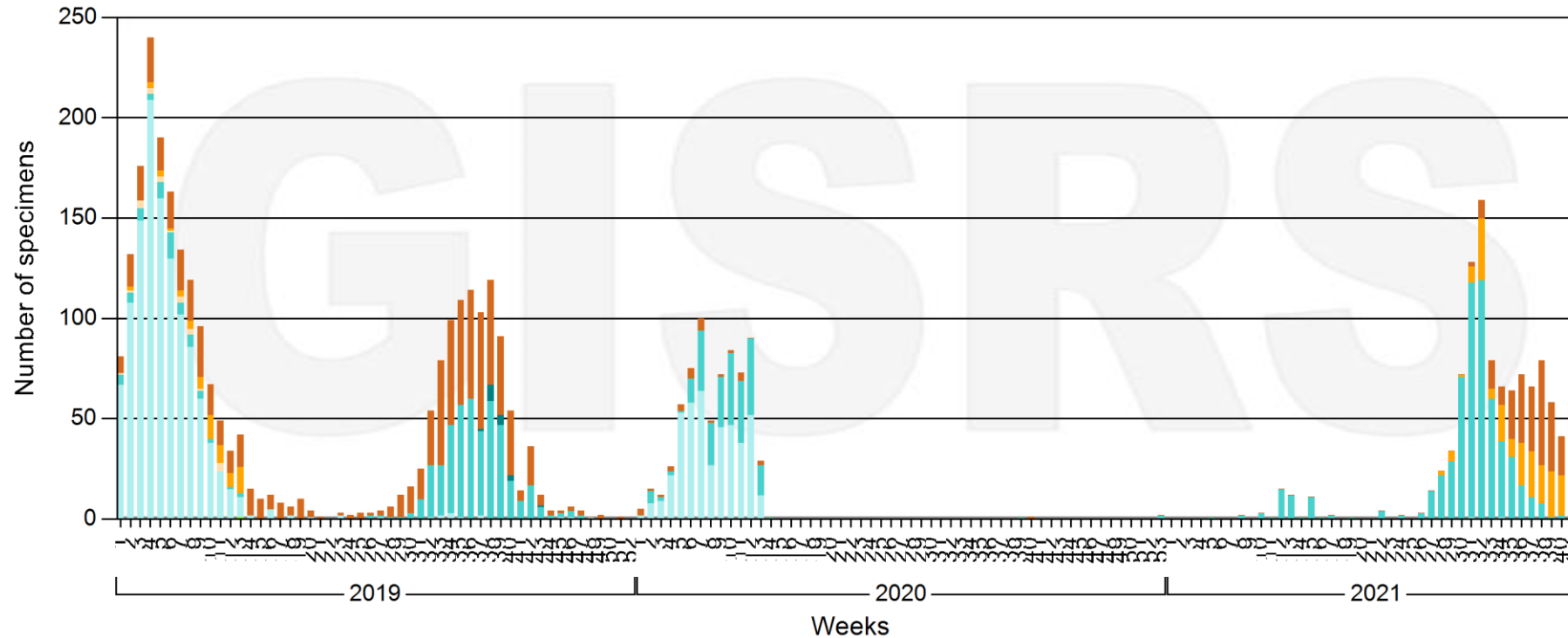


①アルファ・英国株が流入、②デルタ・インド株が流入した時期で、外国籍入国者の陽性率が上がっています。一貫して外国籍入国者の陽性率は日本籍帰国者のそれを上回ってきました。しかし、③オリンピック周辺で、初めて外国籍入国者の陽性率が日本籍帰国者を下回りました。外国籍入国者のワクチン接種済、PCR検査陰性証明の提示の効果と考えられます。現在はオリンピック前に戻っています。

さて、各論として今回はネパールとインドからの入国について検討しました。と言うのは・・・

Nepal

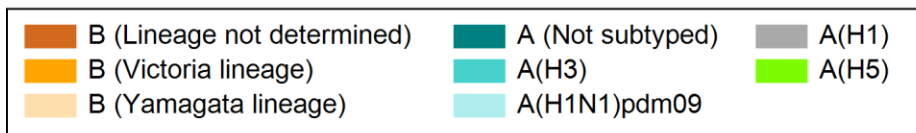
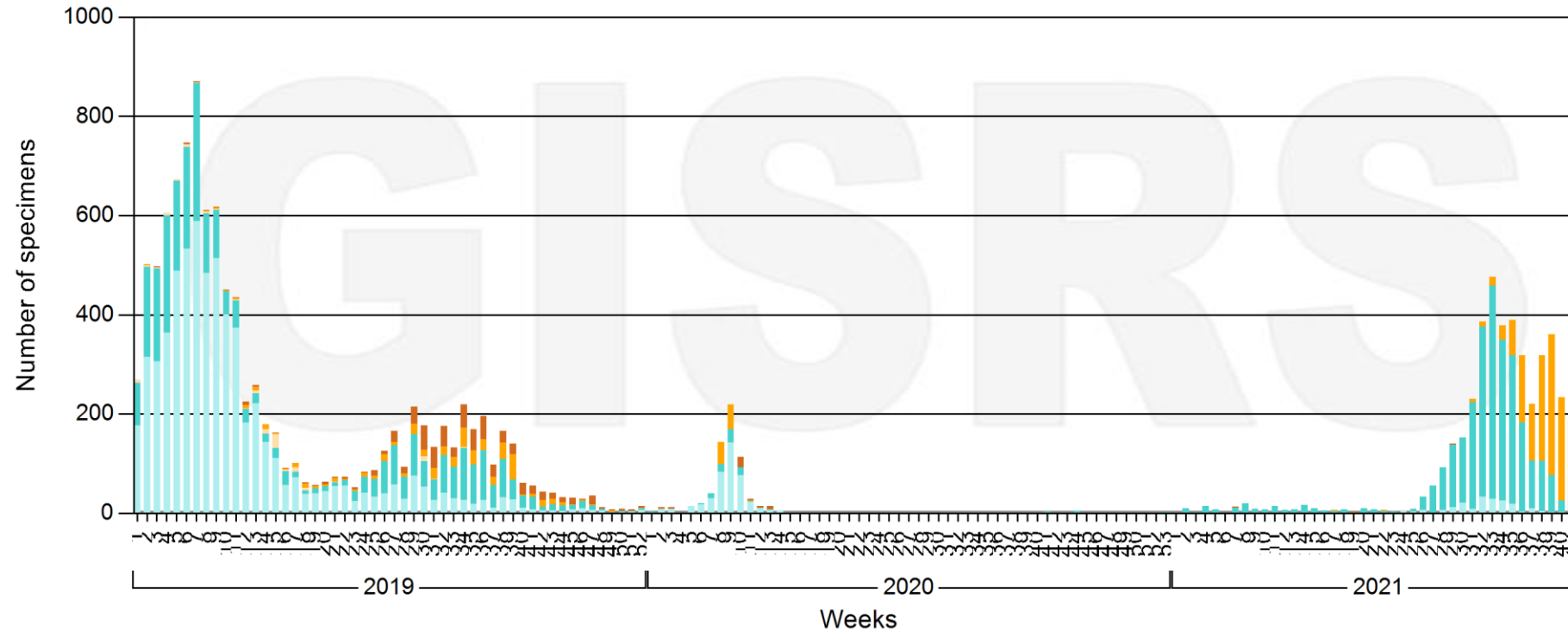
Number of specimens positive for influenza by subtype



Data from: All sites

India

Number of specimens positive for influenza by subtype

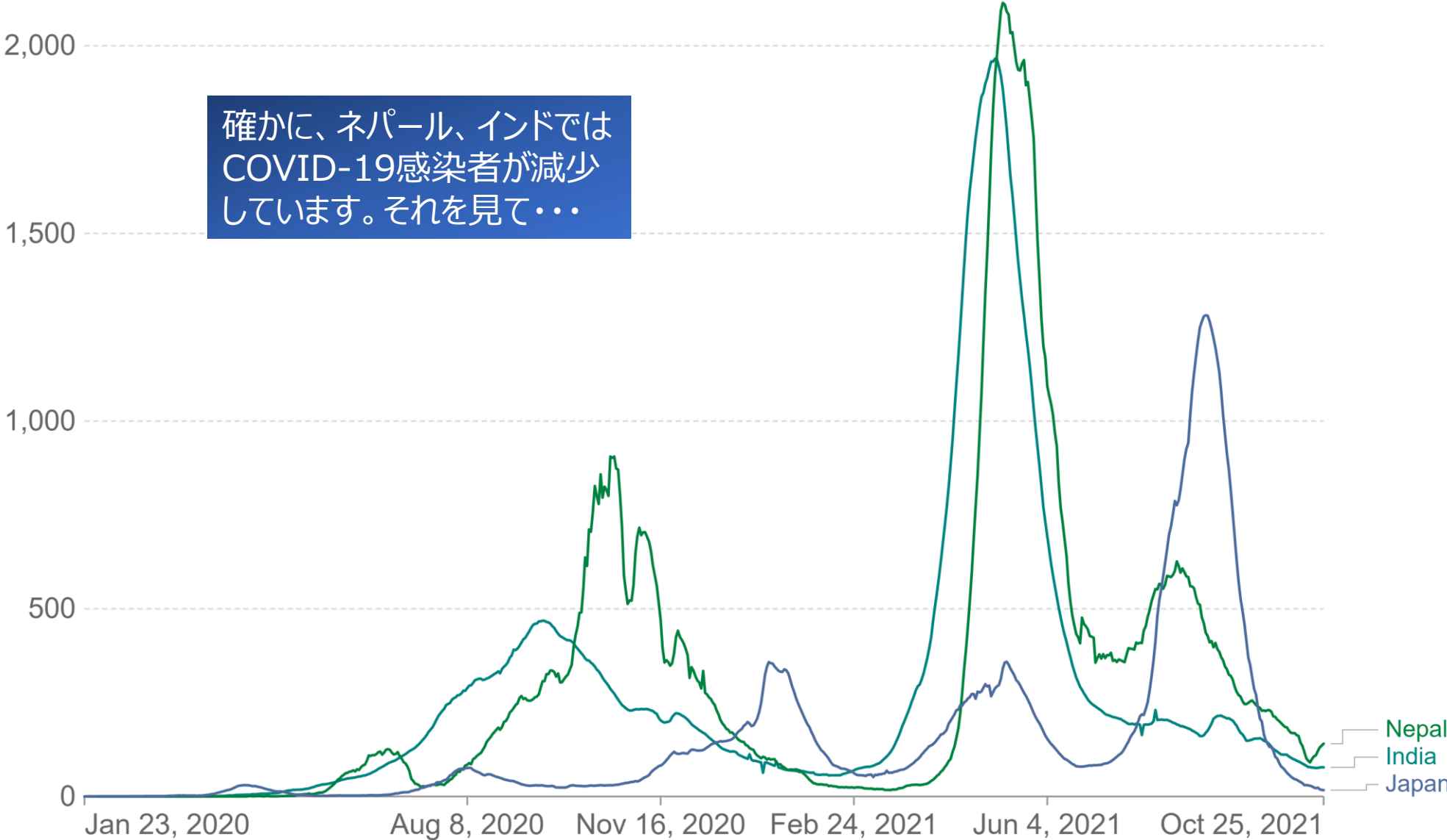


Data from: All sites

ネパールとインドにインフルエンザが出現しているからです。

Weekly confirmed COVID-19 cases per million people

Weekly confirmed cases refer to the cumulative number of confirmed cases over the previous week.



Source: Johns Hopkins University CSSE COVID-19 Data

水際対策上特に対応すべき変異株等に対する指定国・地域について
(要旨)

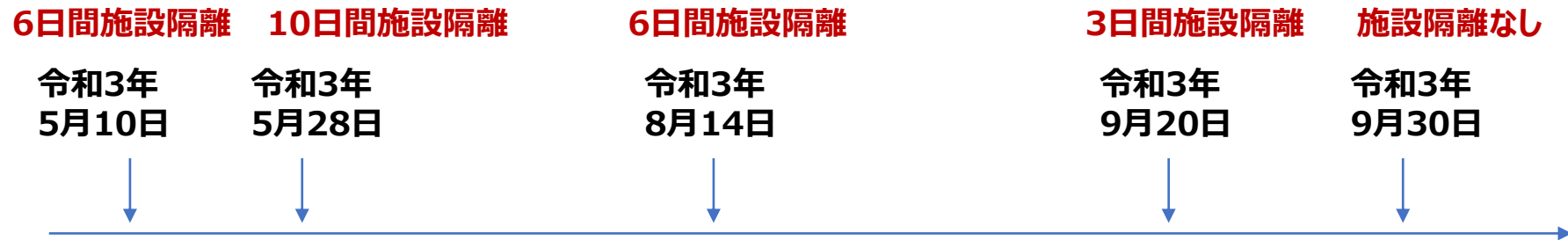
(2) アラブ首長国連邦、**インド**、インドネシア、ウルグアイ、英国、カザフスタン、キューバ、ギリシャ、ザンビア、ジョージア、スリランカ、セーシェル、タンザニア、デンマーク、トルコ、パキスタン、パラグアイ、バングラデシュ、ベルギー、ボリビア、ポルトガル、マレーシア、南アフリカ共和国、モザンビーク、モルディブ、リビア、ロシア（モスクワ市）を「水際対策上特に対応すべき変異株以外の新型コロナウイルスに対する指定国・地域」に指定し、引き続き、**これらの国・地域からのすべての入国者及び帰国者については、検疫所長の指定する場所（検疫所が確保する宿泊施設に限る）で3日間待機いただき、入国後3日目に改めて検査を受けていただきます。**

(3) アフガニスタン、キルギス、スペイン、**ネパール**、ミャンマーからのすべての入国者及び帰国者については、これまでは、検疫所長の指定する場所（検疫所が確保する宿泊施設に限る）で3日間待機いただき、入国後3日目に改めて検査を受けていただくこととしておりましたが、**令和3年9月30日午前0時から、入国時の検査で陰性と判定された方については、検疫所長の指定する場所での待機及び入国後3日目の検査を求めないこととし、入国後14日間の自宅等での待機をしていただくこととなります。**

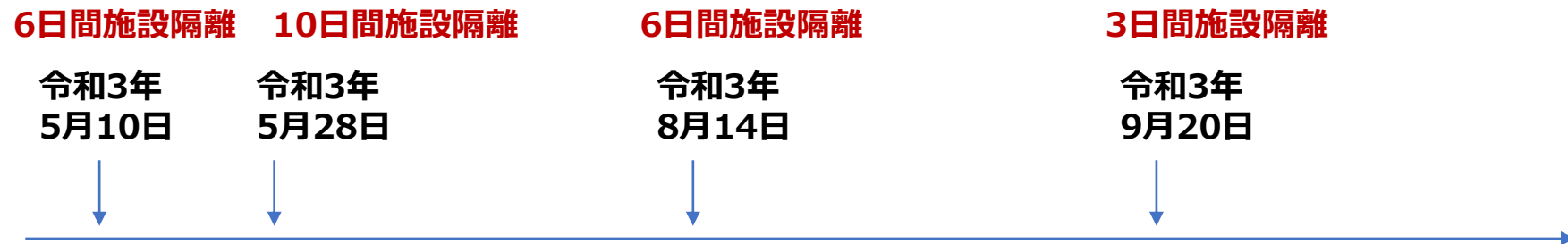
日本政府はネパール、インドからの入国者の水際対策を緩和しました。

まとめと・・・

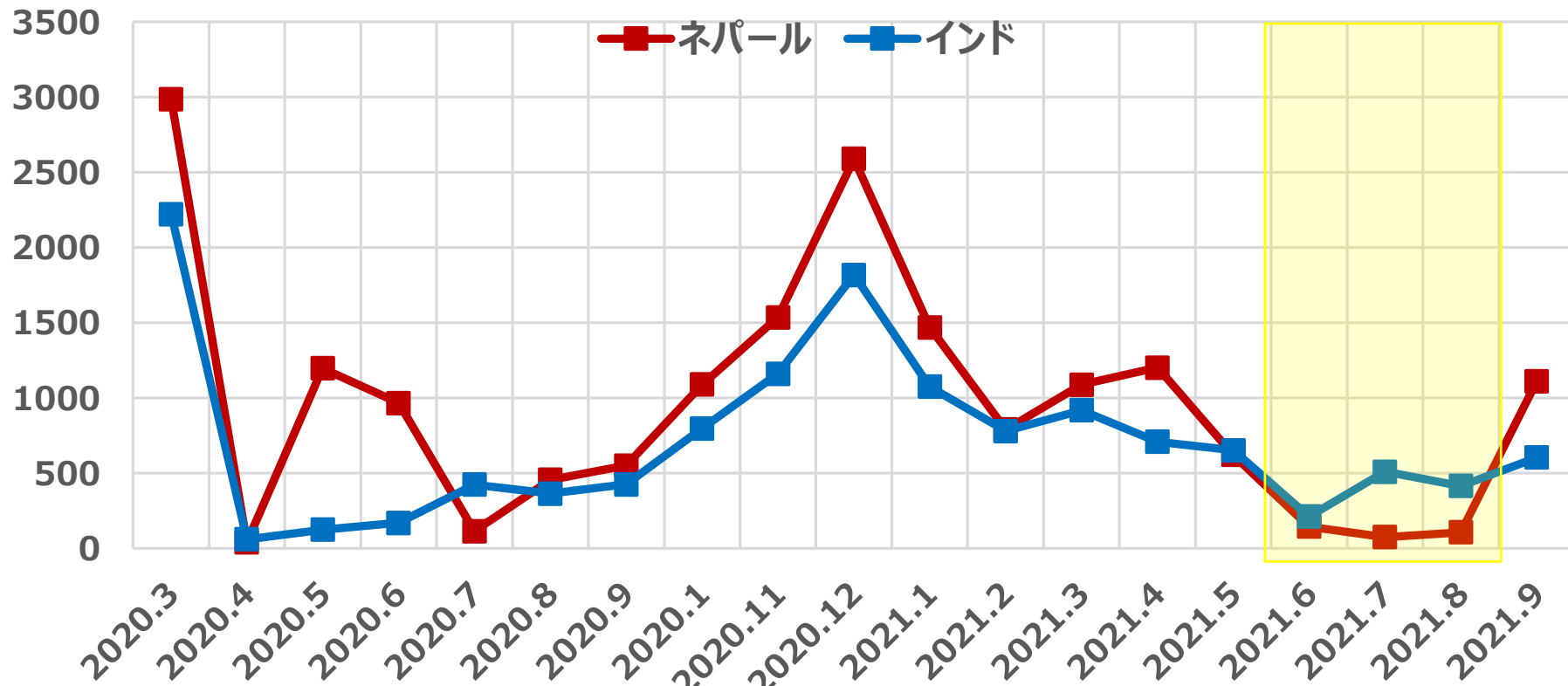
ネパールからの入国者



インドからの入国者



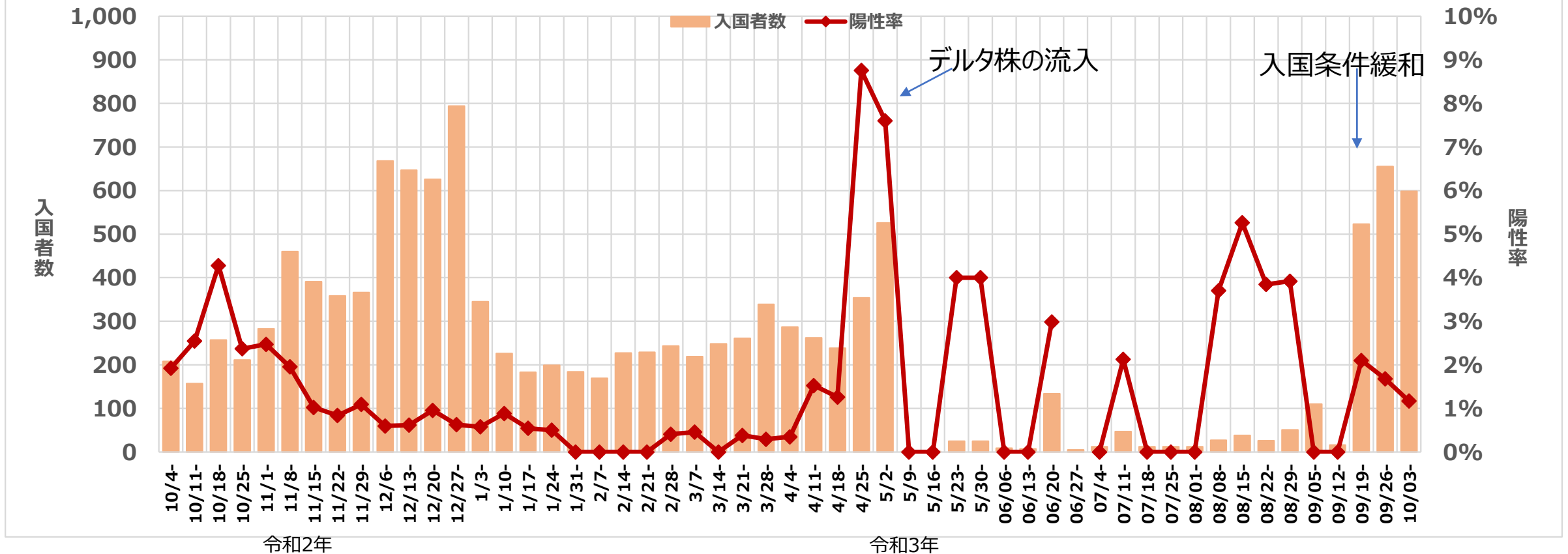
ネパール、インドからの外国籍入国者の推移



出入国在留管理庁の公表データ

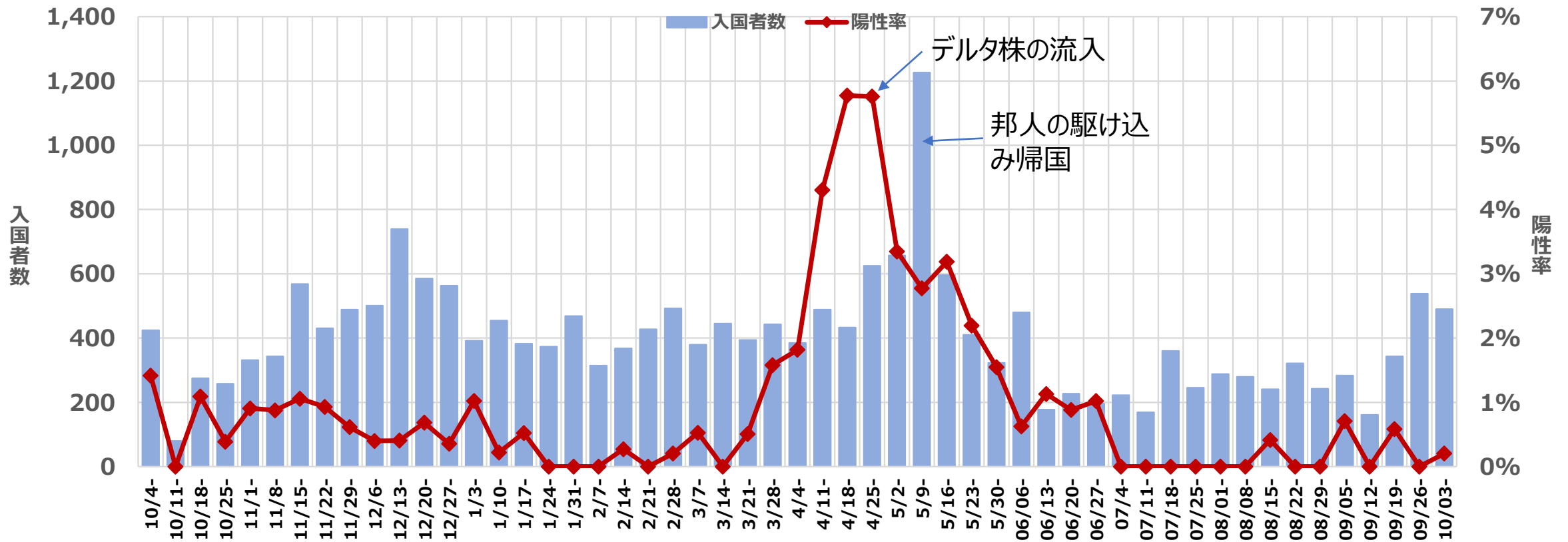
結果として、水際対策が厳しかった黄色期間に激減していたネパールからの外国籍入国者が、早くも増加しています。10月からは入国後の施設隔離「なし」ですから、更に増加する筈です。

ネパールからの入国者数と陽性率の推移



厚生労働省から公表されたネパールからの入国者の空港検疫のデータです。入国者には日本籍帰国者も含めていますが、全体の4%と少人数です。前ページの図より傾向がより鮮明かと思えます。

インドからの入国者数と陽性率の推移



同じく厚生労働省から公表されたインドからの入国者の空港検疫のデータです。
入国者中の日本国籍帰国者は全体の1/3です。

直近の第41週(10/11~10/17)の週報によれば
国内でのインフルエンザはほぼゼロですが、ネパールか
らの入国者数急増、今冬のインフルエンザ流行、大
丈夫でしょうか~??蟻の一穴..